

臨床分子病態検査学講座

Clinical Laboratory Medicine

教授 北島 勲 Isao Kitajima

◆ 著 書

- 1) 北島 勲. 標準臨床検査医学. 第4版. 高木 康, 山田俊幸編. 東京: 医学書院; 2013. 重金属ならびに関連蛋白; p. 232-40.
- 2) 北島 勲. 新規抗凝固薬の選び方・使い方. 豊田一則編. 大阪: フジメディカル出版; 2013. 新規抗凝固薬のモニタリング; p. 88-99.
- 3) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. プロトロンビン時間 (PT), トロンボテスト (TT), ヘパプラスチンテスト (HPT), 活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT); p. 375-9.
- 4) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. フィブリノゲン, 可溶性フィブリンモノマー複合体 (FMC), フィブリン/フィブリノゲン分解産物 [FDP], D ダイマー; p. 379-37.
- 5) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. プロトロンビン, プロトロンビンフラグメント (PF1+2), 第V因子, 第VII因子, 第VIII因子, von Willebrand 因子, von Willenrand 因子マルチマー解析, VWF 切断酵素 (ADAMTS13), 第IX因子, 第X因子, 第XI因子, 第XII因子, 第XIII因子; p. 387-98.
- 6) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. 凝固因子インヒビター定性 (クロスミキシング試験), 第VIII因子インヒビター, 第IX因子インヒビター, 組織因子 (組織トロンボプラスチン), 総組織因子経路インヒビター (総 TFPI), アンチトロンビン (AT), トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT); p. 396-404.
- 7) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. トロンボモジュリン, プロテイン C, プロテイン S, 組織プラスミノゲンアクチベータ (t-PA), プラスミノゲンアクチベータインヒビター1 (PAI-1), t-PA・PAI-1 複合体, プラスミノゲン, α_2 -プラスミンインヒビター, プラスミン・ α_2 -プラスミンインヒビター複合体 (PIC テスト); p. 2013-4.

◆ 原 著

- 1) Harada K, Mikuni S, Beppu H, Niimi H, Abe S, Hano N, Yamagata K, Kinjo M, Kitajima I. A rapid and high-throughput quantitation assay of the nuclear factor- κ B activity using fluorescence correlation spectroscopy in the setting of clinical laboratories. PLOS One. 2013 Oct;8:e75579.
- 2) Mimuro J, Takahashi H, Kitajima I, Tsuji H, Eguchi Y, Matsushita T, Kuroda T, Sakata Y. Impact of recombinant soluble thrombomodulin (thrombomodulin alfa) on disseminated intravascular coagulation. Thromb Res. 2013 May;131(5):436-43.
- 3) Madoiwa S, Kitajima I, Ohmori T, Sakata Y, Mimuro J. Distinct reactivity of the commercially available monoclonal antibodies of D-dimer and plasma FDP testing to the molecular variants of fibrin degradation products. Thromb Res. 2013 Oct;132(4):457-64.

◆ 総 説

- 1) 北島 勲. ワンランク上の小児の臨床検査. 臨床検査総論. 小児科学レクチャー. 2013 Mar; 3(2): 281-8.
- 2) 北島 勲. 静脈血栓塞栓症 (VTE). 検査と技術. 2013; 41(9): 752-8.
- 3) 北島 勲. 新規経口トロンビン阻害薬における凝固検査の重要性と問題点. 兵庫県医師会医学雑誌. 2013; 56(1): 2-3.
- 4) 山下 峰, 北島 勲. ビタミンDの抗腫瘍効果に対するエビデンス. 臨床化学. 2013; 42(2): 356-8.

◆ 学会報告

- 1) Niimi H, Ueno T, Hayashi S, Mori M, Tabata H, Minami H, Saito S, Kitajima I. A new rapid, easy and cost-effective method

that identifies unknown pathogenic microorganisms within 3 hours from sample collection. 20th European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine; 2013 May 19-23; Milano. (Invited lecture)

- 2) Kitajima I, Hirano K, Tani M, Tanaka K. Novel haemostatic biomarkers in acute cardioembolic stroke. 20th European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine; 2013 May 19-23; Milano.
- 3) Kitajima I, Hirano K, Tani M, Tanaka K. Novel haemostatic biomarkers in acute cardioembolic stroke. 2013 American Association for Clinical Chemistry Annual Meeting; 2013 Jul 28-Aug 1; Houston.
- 4) Matsushita T, Watanabe J, Goichi Honda, Mimuro J, Takahashi H, Tsuji H, Eguchi Y, Kitajima I, Sakata Y. Thrombomodulin alfa treatment for disseminated intravascular coagulation in acute promyelocytic leukemia: A retrospective analysis of the open-label, multicenter study cohort. 55th American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition; 2013 Dec 10-14; New Orleans.
- 5) 北島 勲. 新規経口トロンビン阻害薬剤における凝固検査の重要性と問題点. 日本医師会生涯教育協力講座; 2013 Jan 26; 京都. (招待講演)
- 6) 北島 勲. 新規経口凝固薬と凝固・線溶検査. 日本医師会福井県支部生涯教育協力講座; 2013 Feb 17; 福井. (招待講演)
- 7) 北島 勲. 基礎の観点からトロンビン阻害薬の有用性を考える. 第 38 回日本脳卒中学会総会 STROKE2013; 2013 Mar 23; 東京. (招待講演)
- 8) 北島 勲. Novel clinical laboratory markers of blood coagulation and fibrinolysis. 第 38 回脳卒中学会総会血栓止血学会合同シンポジウム; 2013 Mar 23; 東京. (招待講演)
- 9) 北島 勲. 血栓止血学からみたトロンビン阻害薬の有用性. 心臓血管フォーラム 2013; 2013 Apr 18; 大阪. (招待講演)
- 10) 北島 勲. 心房細動と脳梗塞. 日本医師会生涯教育協力講座; 2013 May 11; 神戸. (招待講演)
- 11) 北島 勲. 新規経口抗凝固薬安全性チェックのための凝固検査薬探索. 第 35 回日本血栓止血学会学術集会会長要請共催シンポジウム; 2013 May 31; 山形. (招待講演)
- 12) 北島 勲. 凝固学の視点からトロンビン阻害薬の有用性を考える. 第 35 回日本血栓止血学会学術集会会長ランチョンセミナー; 2013 May 31; 山形. (招待講演)
- 13) 北島 勲. トロンビン阻害薬の特徴を理解する. 第 4 回 National Stroke Summit; 2013 Jun 29; 東京. (招待講演)
- 14) 北島 勲. 心房細動における凝固亢進とトロンビン阻害薬の有用性. 第 28 回犬山不整脈カンファレンス; 2013 Aug 24; 名古屋. (招待講演)
- 15) 北島 勲. 循環器疾患のバイオマーカー検査の進歩. 凝固・線溶マーカー. 日本臨床検査自動化学会第 45 回大会; 2013 Oct 11; 横浜. (招待講演)
- 16) 北島 勲. 血栓・止血分子マーカーの最前線. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会; 2013 Oct 31; 神戸. (招待講演)
- 17) 北島 勲. 心原性脳塞栓症の予防と最新治療. 長野日本医師会生涯教育協力講座; 2013 Oct 13; 長野. (招待講演)
- 18) 滝脇正貴, 山下 峰, 宇治義則, 供田文宏, 小池 勤, 井上 博, 北島 勲. 本態性高血圧症における血中脂質と血液粘性の関係. 第 52 回日本臨床検査医学会東海北陸支部総会・第 326 回日本臨床化学会東海北陸支部例会連合大会; 2013 Mar 10; 津.
- 19) 山下 峰, 滝脇正貴, 宇治義則, 供田文宏, 井上 博, 北島 勲. 本態性高血圧患者における血清 25-ヒドロキシビタミン D3 濃度と Ca, P 代謝指標の関係. 第 52 回日本臨床検査医学会東海北陸支部総会・第 326 回日本臨床化学会東海北陸支部例会連合大会; 2013 Mar 10; 津.
- 20) 塩崎真弓, 山岸奈々, 成瀬里恵, 吉田千晶, 宇治義則, 平井忠和, 市田露子, 井上 博, 芳村直樹, 北島 勲. 循環器内科外来の成人先天性心疾患における心エコー図所見の特徴. 第 77 回日本循環器学会学術集会; 2013 Mar 16; 横浜.
- 21) 川添友紀, 吉田 聡, 別府秀幸, 北島 勲. 肝がん細胞におけるトロンビンによる TF と PAI-1 発現と古典的 NF- κ B シグナル低反応性との関連. 第 35 回日本血栓止血学会学術集会; 2013 Jun 1; 山形.
- 22) 田川寛子, 仁井見英樹, 上野智浩, 北島 勲. 液相 Cell Counting 法, 迅速で簡便な薬剤感受性試験法の開発の試み. 第 24 回日本臨床化学東海・北陸支部総会/第 32 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会; 2013 Jul 20; 浜松.
- 23) 上野智裕, 仁井見英樹, 森 正之, 多葉田誉, 南洋 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速な子宮内感染症・相対的定量検出法の構築. 第 24 回日本臨床化学東海・北陸支部総会/第 32 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会; 2013 Jul 20; 浜松.

- 24) 山岸奈々, 北島 勲. 骨形成因子 (BMP) 受容体変異とシグナル異常は上皮細胞腫瘍化に影響を与える. 第 53 回日本臨床化学会年次学術集会; 2013 Aug 30; 徳島.
- 25) 仁井見英樹, 上野智浩, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 北島 勲. Tm mapping 法: 検体採取 3 時間以内で不特定の起因菌を同定する迅速検査法. 第 53 回日本臨床化学会年次学術集会; 2013 Aug 31; 徳島.
- 26) 山岸奈々, 塩崎真弓, 成瀬理恵, 井上 博, 北島 勲. 心臓内腫瘍の検出における経胸心エコーの有用性. 第 38 回北陸臨床病理集談会; 2013 Sep14; 金沢.
- 27) 上野智浩, 仁井見英樹, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速な子宮内感染症・菌検出法の構築. 第 38 回北陸臨床病理集談会; 2013 Sep14; 金沢.
- 28) 山下 峰, 滝脇正貴, 野手良剛, 宇治義則, 北島 勲. AQT90FLEX 免疫測定装置による CK-MB 蛋白量測定の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会第 45 回大会; 2013 Oct 11; 横浜.
- 29) 関口敬文, 滝脇正貴, 上野智浩, 宇治義則, 北島 勲. 全自動生化学分析装置に Threonin, Tryptophan, Glycine 分析法構築と臨床への応用. 日本臨床検査自動化学会第 45 回大会; 2013 Oct11; 横浜.
- 30) 吉田 聡, 吉田淑子, 古市恵津子, 吉田加奈美, 岡部素典, 北島 勲. Image J を用画像解析の適応性. 日本解剖学会中部地区地方会; 2013 Oct 5; 山梨.
- 31) 仁井見英樹, 上野智浩, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. Tm mapping 法: 患者検体採取後 3 時間以内での迅速起因菌同定法. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会; 2013 Oct 31; 神戸.
- 32) 上野智浩, 仁井見英樹, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた子宮内感染症の相対的定量検出法. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会; 2013 Oct 31; 神戸.
- 33) 田川寛子, 仁井見英樹, 北島 勲. 液相 Cell Counting 法: 迅速かつ簡便な薬剤感受性試験法開発の試み. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会; 2013 Oct 31; 神戸.
- 34) 滝脇正貴, 関口敬文, 宇治義則, 田部井陽介, 浅野泰久, 北島 勲. 酵素法による血漿 Threonine 定量法の確立. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会; 2013 Oct 31; 神戸.
- 35) 山下 峰, 滝脇正貴, 北島 勲, 供田文宏, 小池 勤, 井上 博, 宇治義則. 本態性高血圧症における交感神経・副腎髄質系と血中 FGF-23 との関係. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会; 2013 Oct 31; 神戸.

◆ その他

- 1) 欧州特許条約許可: Miimi H, Kitajima I. Method for identifying pathogenic microorganisms responsible for infection by extracting the DNA of a microorganism. 出願番号 07714581.1. (PTC-TU4-33)
- 2) 本田孝行, 松尾収二, 正木 充, 原田健右, 高崎 匡, 中村文彦. 第 59 回学術集会 Reversed Clinicopathological Conference (R-CPC) 臨床で利用しやすい検査結果を提供しよう. 臨床病理. 2013; 61(3): 271-82.
- 3) 松井祥子, 高倉一恵, 島木貴久子, 野口寿美, 佐野隆子, 酒井 渉, 北島 勲. 麻疹アウトブレイクその後. 学園の臨床研究 (富山大学保健管理センター紀要). 2013; 12; 1-4.
- 4) 酒井 渉, 松井祥子, 高倉一恵, 島木貴久子, 立瀬剛志, 吉永崇史, 水野 薫, 原澤さゆみ, 瀬尾友徳, 日下部高史, 島木貴久子, 佐野隆子, 四間丁千枝, 島田尚佳, 宮村健壮, 舟田 久, 廣川慎一郎, 宮脇利男, 北島 勲. 医薬キャンパスにおける学生支援の現状と課題—安全配慮義務との関連から—. 学園の臨床研究 (富山大学保健管理センター紀要). 2013; 12: 77-82.